津屋崎中ブロック3校合同教育目標　主体的に社会とつながり課題解決に取り組む子どもの育成

愛と情熱

《ストラテジー》重点目標達成のための方策

○教育活動の充実

○ココロとカラダの天気の活用　○人権教育の視点に立った授業、人間関係、環境づくりの実施

○子どもの権利条約に則った校則の見直し　○特別支援教育の視点（UD）に立った学習環境づくり

○生徒指導提要に基づいた発達支持的授業づくりの推進　○AIの活用等、ICT機器を日常的に活用

○新たな人権課題に対応した学習の充実　○放課後にゆとりを創出する週28コマにチャレンジ

○探究活動を通した社会参画力の育成　○昼休みに学校を開く「つやさんぽ」を実施

●組織運営の充実

●OODAループを迅速に機能させ改善に活用　●教職員相互の「感謝」「寛容」「思いやり」を重視

●誠実&スピーディーなクライシスマネジメントの徹底　●同僚性を基盤にしたシャッフル担任制の活用

●働き方改革の拠点となるイキイキワクワク委員会の設置　●同僚性を高めた不祥事防止の徹底

●学校運営協議会、PTA、拡大サポート委員会等との連携、協働　●タイムリーな通信の発行による安心感

●自己推薦を導入した主任・主事等の選考による活性化　●主任・主事に「副」を新設した負担軽減

《パーパス》重点目標

イキイキ（生き・活き）ワクワク（和く・湧く）

《バリュー》重点目標達成のための行動指針

教職員同士の同僚性を何よりも大切にする

お互いの心と身体のケアをこころがける

子どもたちの命と人権を何よりも優先する

誠実&スピーディーを心がける

パートナーやサポーター（保護者や地域の方々）と協働する

《ビジョン》重点目標達成のための方針

生き：何よりも命と人権を優先する

活き：笑顔や好奇心、思いやりの心を大切にする

和く：ウェルビーイング（幸せ）を追求する

湧く：子どもたちの力や意欲を信じ「はじめに子どもありき」の教育を実践する